

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第249号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年7月2日 05時10分ごろ	
発生場所	阪神港大阪第3区 大正内港岸壁付近	
事故等調査の経過	平成21年8月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第二蛭子丸^{えびす}、197トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 131391、田中海運有限公司</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、五級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船尾船底に擦過傷、推進器翼に曲損及び欠損</p>	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、鋼材等約680トンを積み、船首約2.8m、船尾約4.0mの喫水で、大正内港岸壁から離岸作業中、平成21年7月2日05時10分ごろ、船底に衝撃を受けた。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南西、風力 3</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、水深が浅い大正内港岸壁を離岸する際の操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、水深が浅い大正内港岸壁を離岸する際、操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	